

4 近畿地方で採られたツルギキョウの標本と記録

標本および記録にもとづいて作成した近畿地方におけるツルギキョウの分布図を図7に示した。

和歌山県七川村の地点を除くと本種は紀伊半島の中西部の比較的狭い地域に分布しており、この度見つかった淡路島の地点はそれら分布域の西の延長線上にあることがわかった。淡路島の地点はこれまで知られていた最も西の地点(紀見峠)から紀淡海峡を挟み、70 kmほど西に位置する。

<標本>

- 1) 大阪市立自然史博物館(OSA)所蔵の標本
 - ①大阪府和泉市父鬼, ② 和歌山県橋本市紀見峠
- 2) 京都大学標本庫(KYO)所蔵の標本

村田(1956)には下記2地点が記録されている。

 - ①大阪府紀見峠, ②和歌山県七川村
- 3) 国立科学博物館(TN)所蔵の標本(サイエンスミュージアムネット)には下記4地点が記録されている。

- ①阪府和泉市(1982年), ②大阪府河内長野市(2016年),
- ③大阪府千早赤阪村(2016年), ④和歌山県橋本市(1972年)

- 4) 大阪府

最近の調査によって千早赤坂村と河内長野市で確認された(梅原徹氏 私信)。

- 5) 奈良県

2003年には奈良県高取町高取山および信貴山でツルギキョウが確認されている(富永 2022)。

- 6) 兵庫県

洲本市(本報告)



図7 ツルギキョウの近畿地方における分布

5 ツルギキョウの国及び各府県における絶滅危惧種指定状況

環境省の「絶滅危惧Ⅱ類」に指定されており、国内22都府県の指定状況は下記のとおりである。

<絶滅>群馬(1県) <Ⅰ類>栃木・埼玉・千葉・東京・大阪・奈良・和歌山・山口・徳島・愛媛・福岡・熊本・宮崎(13都府県) <Ⅱ類>茨城・神奈川・静岡・高知・大分・鹿児島(6県) <準絶滅危惧>佐賀・長崎(2県)。
なお、この度生育が確認された兵庫県については次のRDB改定でランクA(Ⅰ類)に指定されるものと思われる。

文献

生嶋史朗・廣瀬重夫 2009. 淡路島北部で兵庫県新産のモメンヅル(マ科)を発見. 兵庫県植物誌研究会会報(81):1-2. 生嶋史朗 2012. 2006~2011年に淡路島で新たに記録および産地を確認した植物. 兵庫の植物(22):3-20. 生嶋史朗・小林禧樹 2012. イズノハコを53年ぶりに兵庫県(淡路島)で確認. 兵庫県植物誌研究会会報(92):1. 黒崎史平・高橋 晃 2006. キキョウ科 in 福岡誠行・黒崎史平・高橋晃編 兵庫県産維管束植物7人と自然(16):126-129. 小林禧樹・黒崎史平・三宅慎也 2012. 改訂増補・淡路島の植物誌. 自然環境研究所特別出版物第9集. 村田 源 1956. 近畿地方植物誌 3. 兵庫生物 3(3):162-165. 村田 源 2004. 近畿地方植物誌(レッドデータブック近畿研究会編), 大阪市自然史センター. サイエンスミュージアムネット <https://science-net.kahaku.go.jp/s/specimen/>. 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 1981. 日本の野生植物 草本Ⅲ 合弁花類. 平凡社. 富永明良 2022. 奈良植物研究(43):24-27. 和歌山県レッドリスト 2022. <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/>

<謝辞>

洲本市のツルギキョウの分布情報を提供いただいた特定非営利活動法人あわじFANクラブ顧問の小松茂に感謝します。また、大阪府における最近の分布情報および大阪市立自然史博物館に収蔵されている標本の情報を提供していただいた梅原 徹氏に感謝します。